



# 山田早苗コレクション : 日本の商船隊行動記録集

内田, 誠

---

**(Citation)**

海事博物館研究年報, 32:4-5

**(Issue Date)**

2004-03

**(Resource Type)**

departmental bulletin paper

**(Version)**

Version of Record

**(JaLCOI)**

<https://doi.org/10.24546/81005627>

**(URL)**

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/81005627>



# 山田早苗コレクション

——日本の商船隊行動記録集——

内 田 誠

2004年10月28日、芦屋市に在住の歯科医師山田早苗先生から神戸大学海事科学部海事博物館に、戦前・戦中の日本商船全船を網羅する約4,600隻の「日本の商船隊行動記録集」（船舶要目、写真、行動記録）や102隻に及ぶ1/600精密船舶模型などから構成される船舶資料集『山田早苗コレクション』を寄贈いただきました。

山田先生は昭和2年に芦屋市で生まれ、幼少の頃から乗り物、特に船舶に興味を持ち、少年時代には戦前の別府航路客船の天保山（大阪）—中突堤（神戸）区間乗船を幾度も楽しみ、また、当時の最新鋭船「報国丸」がアフリカ航路1航海だけで大連航路へ変更されると知ると、門司—神戸区間乗船のため別の船で門司に向かい復路「報国丸」乗船を楽しむなど、優雅な船の姿に心を惹かれました。新聞の片隅に掲載される「船舶出港予告表」をご覧になることも楽しみであったそうです。

戦後、青年時代に歯科医師を目指して勉学に励みつつも、船舶に対する興味は薄らぐどころか益々強くなり、日本商船隊に関する整理されまとまった情報が国内外に皆無であることに気付いて以降、「日本の商船隊行動記録集」を本格的にまとめることに着手し、その後歯科医師、大学教授となって以降も資料の整理と索引の充実を図り、「戦前・

戦中の日本商船の情報で、山田早苗コレクションに無ければ、世界中どこにも存在しない」といわれるまで唯一無二の貴重な資料集となりました。戦没者遺族による船舶行動調査や戦中の沈船調査はじめ船舶会社社史編纂のための情報提供など、多方面からの問い合わせに山田先生は積極的に協力され、また、雑誌「船の科学」（2001年12月号をもって休刊）の記事「日本商船隊の懐古」を長年にわたり担当されてきました。

『山田早苗コレクション』の情報価値を最もよくご存知の山田先生は、資料が将来散逸することを懸念され、いずれは神戸商船大学（当時）に寄贈していただくことを1998年2月に申し出下さいました。それから6年余りが経過し、その間、大学は統合ならびに法人化と大きく変化して、山田先生には一時御心配をおかけしましたが、海事資料館が発展的に海事博物館に改称されたこの時期に、晴れて御寄贈いただけることとなりました。

海事博物館として、一刻も早く山田早苗コレクション公開の準備を整え、資料に基づく情報提供を山田先生から引き継いで行うと共に、海事教育ならびに研究においても有効に活用させていただきたいと思います。紙面を借りまして、山田早苗先生に改めて御礼申し上げます。



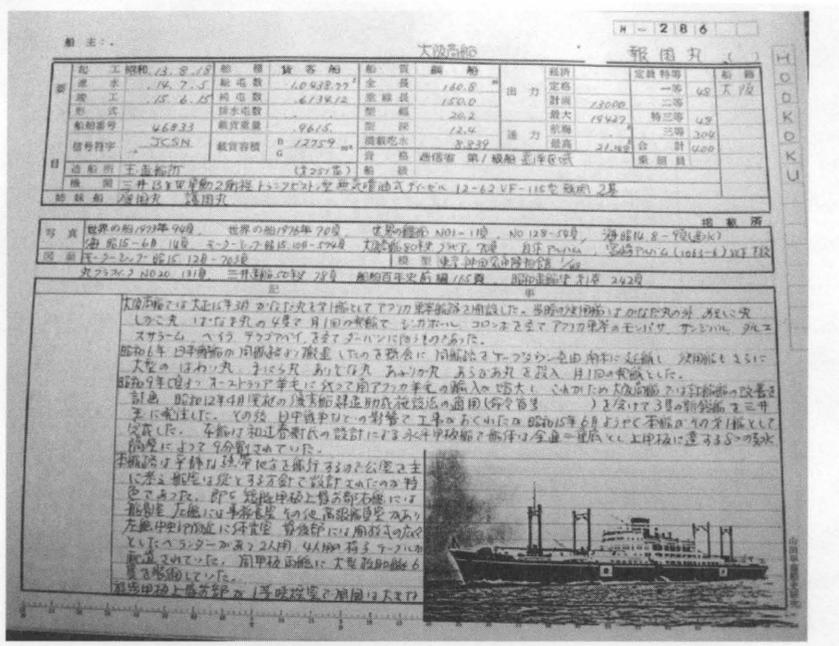
山田早苗先生

## 山田早苗先生 御略歴

- ・昭和2年芦屋市で誕生
- ・昭和28年大阪歯科大学卒業
- ・昭和44年広島大学歯学部教授
- ・平成7年広島大学停年退官
- ・歯科医師、歯学博士、広島大学名誉教授
- ・日本商船の行動記録・要目・写真収集家

## 山田早苗コレクションの一部紹介

- ・「日本の商船隊行動記録集」より「報国丸」



- ・「船舶写真ネガアルバム」より「報国丸」



- ・「1/600 精密船舶模型」より「浅間丸」、「新田丸」、「報国丸」(左から)

